

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2002年4月9日

カスケード山脈の東側は昨年来より降水量不足が続いており、冬小麦に水分不足の症状が現れている。過去1週間の降水量は全州で平年を下回り、小麦主産地の北中央区では昨年9月1日から4月7日までの降水量は、平年（過去5年平均）の凡そ72%である。春小麦の播種は進んでいるが、生育不良による平年以下の単位収量が今から予想される。北中央地区のギリウム郡春小麦の65%が播種され、播種圃場の35%で出芽している。郡全体の55%の圃場で土壌水分不足が報告されている。ウマティラ郡の土壌水分の状況は他郡より良く、75%が十分な土壌水分となっている。同郡の春小麦は播種75%完了、出芽した圃場は50%となっている。冬小麦の状況は65%が Good、10%が Excellent と報告されている。

2002年4月7日現在:

土壌水分状況:

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	18	23	55	4
Subsoil (%)	18	19	58	5

小麦作柄:

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	21	10	22	40	7
Spring wheat (%)	na	na	na	na	na

作物進捗状況:

	This week	Last week	Last year	5 -yr Ave.
Spring wheat Planted (%)	81	65	78	na
Emerged (%)	29	12	24	na
Winter wheat Jointing (%)	na	na	na	na

Source: Oregon Agricultural Statistics Services